

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	主な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道一般改築)			補助・単独別	補助	建設部 道路建設課			
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
1	(国)141号 ながとろ 長土呂～ みかげひん 御影新田 バイパス (佐久市～ 小諸市)	道路築造工 L=2,400m W=13.0(25.0)m (うち橋梁1橋 L=90m) 安全施設工 一 式	橋梁上下部工 L=90m 道路築造工 L=670m 安全施設工 一 式	交差点工 一式	交差点工 一式	必要性 A	97%	計画どおり進んでいる。 佐久北IC接続部完了、旧道処理を実施。 H23完了予定	事業の必要性、重要性及び緊急性は高い。中部横断自動車道に合わせH22年度末に供用を実施し、残工事は交差点工のみであるため、事業を継続しH23で完了を図りたい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		{工期:H20～H23}				重要性 A		特記事項 中部横断自動車道佐久北ICと接続			
		9億4985万円	2億7985万円	3000万円	3000万円	効率性 B		B/C(費用対効果)=6.6			
						緊急性 A		住民参加状況等 植樹帯の維持管理を地元で実施			
2	(国)142号 さくみなみかくふく 佐久南拡幅 (佐久市)	道路拡幅工 L=3,650m W=14.0(28.0)m (うち橋梁3橋 L=106m) {工期:H11～H24}	道路拡幅工 L=980m	用地補償 一式	道路拡幅工 L=800m	必要性 A	97%	計画どおり進んでいる。 起点～佐久南ICランプ部まで供用、残区間の 用地補償を実施。	事業の必要性、重要性及び効率性は高い。H22年度末の中部横断自動車道佐久南IC供用による交通量の増加に対応するため、事業を継続したい。	重要性が高く、必要性も認められる。	「継続」
						重要性 A		特記事項 H20再評価「継続」 中部横断自動車道佐久南ICと接続			
		56億円	9億7300万円	1億4000万円	1億5410万円	効率性 A		B/C(費用対効果)=4.5			
						緊急性 B		住民参加状況等 供用済区間において植樹帯の維持管理を地元で実施			
3	(国)144号 うえの 上野バイパス (上田市)	道路築造工 L=2,290m W=13.0(25.0)m (うち橋梁1橋 L=80m) {工期:H12～H28}	用地測量 一式 物件調査 一式 用地補償 一式	用地測量 一式 物件調査 一式 用地補償 一式	道路築造工 L=1,800m (うち橋梁1橋 L=80m)	必要性 B	39%	計画どおり進んでいる。 H21年度に第1期区間が完成、引き続き第2期 区間の物件調査、用地補償を実施。	事業の重要性は高い。交通渋滞解消及び歩行者自転車交通の安全確保のため、事業を継続したい。	重要性が高い。	「継続」
						重要性 A		特記事項 H21再評価「継続」 2期区間の整備手法を再検討し、4車線整備を暫定2車線整備に見直し。 B/C(費用対効果)=1.6			
		93億円	2743万2千円	1億円	56億3586万8千円	効率性 B					
						緊急性 B		住民参加状況等 第1期区間について、植樹に対するアダプトシステムを地元と締結			
4	(国)254号 ひがしうち にしうち 東内～西内 (上田市)	道路築造工 L=9,400m W=6.5(9.0～11.0)m {工期:H22～H29}	道路築造工 L=300m	道路築造工 L=320m	道路築造工 L=9,000m	必要性 A	3%	計画どおり進んでいる。 H23は宮沢工区ミニバイパスの供用を図りたい。	必要性、重要性及び効率性は高い。上小佐久生活圏と松本生活圏を結ぶ非常に利用の多い路線の幅員狭小かつ線形不良区間の解消のため、事業を継続したい。	重要性が高く、必要性も認められる。	「継続」
						重要性 A		特記事項 特になし			
		29億円	9013万9千円	7000万円	28億986万1千円	効率性 A		B/C(費用対効果)=2.5			
						緊急性 B		住民参加状況等 特になし			

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	主な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道一般改築)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課			
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況					
5	(国)153号 いな 伊那バイパス (伊那市～ 南箕輪村～ 箕輪町)	道路築造工 L=7,630m W=14.0(28.0)m (うち橋梁3橋 L=770m) (暫定2車線整備) (工期:H9～H26)	橋梁上部工 L=98.5m 道路築造工 L=1,100m	道路築造工 L=670m	道路築造工 L=4,910m (うち橋梁2橋 L=672m) (暫定2車線整備)	必要性 B	47%	計画どおり進んでいる。 H22までに延長2.7kmが供用し、H23は県道伊 那辰野(停)線までの間を供用予定。	事業の重要性、効率 性は高い。県道伊那 辰野(停)線までの間 をH23に供用すること による事業効果発現 のため、事業を継続し たい。	重要性が高い。	「継続」		
		215億円	13億200万円	7億5600万円	113億3500万円	重要性 A						特記事項 H18再評価「継続」	
						効率性 A							B/C(費用対効果)=4.5
						緊急性 B							
6	(国)418号 うまぎとがけ 売木峠 バイパス (売木村～ 阿南町)	道路築造工 L=4,036m W=6.5(11.0)m (うちトンネル L=1,036m、橋梁4橋 L=163m) (工期:H4～H23)	道路築造工 L=500m 橋梁上部工 L=43m	道路築造工 L=400m	道路築造工 L=400m	必要性 A	96%	計画どおり進んでいる。 阿南町分は完了。H23完了予定。	事業の必要性、重要 性及び効率性は高 い。事業を継続しH23 で完了を図り幅員狭小 区間を解消したい。	平成23年度での完了 を図る。	「継続」		
		69億6100万6千円	3億7690万6千円	2億8000万円	2億8000万円	重要性 A						特記事項 H18再評価「継続」	
						効率性 A							B/C(費用対効果)=3.9
						緊急性 B							
7	(国)152号 ことうぎ 小道木 バイパス (飯田市)	道路築造工 L=1,700m W=6.5(8.0)m (うちトンネル2箇所 L=1,292m)(うち橋梁2 橋 L=312m) (工期:H20～H27)	道路築造工 L=136m	道路築造工 L=149m 橋梁下部工 7基 トンネル工 L=1,196m	道路築造工 L=1,700m (うちトンネル2箇所 L=1,278m) (うち橋梁2橋 L=309m)	必要性 B	7%	計画どおり進んでいる。 橋梁工・トンネル工を推進する。	事業の重要性、効率 性は高い。唯一の生 活道路であり緊急輸 送路として、また三遠 南信自動車道の現道 活用区間として早期 供用を図るため、事業 を継続としたい。	重要性が認められ る。	「継続」		
		54億円	2億4500万円	10億円	50億3500万円	重要性 A						特記事項 三遠南信自動車道の現道活用区間である。	
						効率性 A							B/C(費用対効果)=1.6
						緊急性 B							
8	(国)152号 おだ 和田バイパス (飯田市)	道路築造工 L=4,111m W=6.5(11.0)m (うちトンネル2箇所 L=327m)(うち橋梁2 橋 L=166m) (工期:H10～H27)	舗装工 L=200m 橋梁上部工 1橋	道路築造工 L=300m 橋梁上部工 1橋	道路築造工 L=1,900m (うちトンネル1箇所 L=180m) (うち橋梁1橋 L=55m)	必要性 A	68%	計画どおり進んでいる。 L=2,080mが供用し、残L=1,970mの道路築造 工を実施する。	事業の必要性、重要 性及び効率性は高 い。唯一の生活道路 であり緊急輸送路とし て、また三遠南信自動 車道の現道活用区間 として早期供用を図 るため、事業を継続と したい。	必要性、重要性が認 められる。	「継続」		
		60億9700万円	2億9017万5千円	2億5000万円	19億7582万5千円	重要性 A						特記事項 H19再評価「継続」 三遠南信自動車道の現道活用区間である。	
						効率性 A							B/C(費用対効果)=1.4
						緊急性 B							

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	主な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道一般改築)			補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
9	(国)152号 こおろし 小嵐バイパス (飯田市)	道路築造工 L=2,425m W=6.5(8.0)m (うち橋梁2橋 L=258m) (工期:H19~H26)	詳細設計 一式	用地測量 一式 物件調査 一式 用地補償 一式	道路築造工 L=2,425m (うち橋梁2橋 L=258m)	必要性 A	3%	計画どおり進んでいる。 調査設計が完了し、用地買収を実施する。	事業の必要性、重要性及び効率性は高い。三遠南信自動車道の現道活用区間として早期供用を図るため、事業を継続したい。	必要性、重要性が認められる。	「継続」
		49億円	3000万9千円	6000万円	47億4499万1千円	重要性 A	特記事項 三遠南信自動車道の現道活用区間である。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.7				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし				
10	(国)418号 じっぽろきょう 十方峡 バイパス (天龍村~ 飯田市)	道路築造工 L=1,810m W=6.5(11.0)m (うちトンネル L=836m)(うち橋梁3 橋 L=343m) (工期:H9~H25)	橋梁上部工 L=118m トンネル工 L=326m	橋梁上部工 L=118m トンネル工 L=108m	道路築造工 L=910m (うちトンネル L=108m) (うち橋梁1橋 L=118m)	必要性 A	78%	計画どおり進んでいる。 新清水橋上部工及び曇野トンネル工を実施する。	事業の必要性、重要性、効率性及び緊急性は高い。冠水危険箇所解消のため、事業を継続したい。	必要性、重要性が認められる。	「継続」
		61億7000万円	8億6019万7千円	4億円	13億8480万3千円	重要性 A	特記事項 H18再評価「継続」				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.5				
						緊急性 A	住民参加状況等 本地域は、天龍ピカピカ大作戦という道路沿道美化が春と秋2回開催され、地域住民(小中学生を含む)の環境形成活動が盛ん。				
11	(国)361号 うはがみとうげどうろ 姥神峠道路 (木曾町~ 塩尻市)	道路築造工 L=8,145m W=7.0(10.5)m (工期:H8~H24)	詳細設計 一式	詳細設計 一式	道路築造工 L=3,510m	必要性 A	65%	約5kmが供用し、残L=3,510mの道路築造工を実施する。	事業の必要性、重要性、効率性及び緊急性は高い。木曾谷と伊那谷を結ぶ重要な地域高規格道路であるため、事業を継続したい。	必要性、重要性が認められる。	「継続」
		348億5200万円	616万7千円	2000万円	123億1113万3千円	重要性 A	特記事項 H18再評価「継続」				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.4				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし				
12	(国)403号 やごせぼうさい 矢越防災 (筑北村~ 安曇野市)	道路築造工 L=1,800m W=6.0(7.5)m (うちトンネル L=1,033m) (うち橋梁1橋 140m) (工期:H21~H28)	詳細設計 一式	道路築造工 L=200m	道路築造工 L=1,800m (うちトンネル L=1,033m) (うち橋梁1橋 140m)	必要性 B	3%	計画どおり進んでいる。 H23は橋梁工及び終点側道路築造工を実施する。	事業の重要性及び効率性は高い。落石危険箇所の解消や冬期交通の円滑な確保のため、事業を継続したい。	重要性が高い。	「継続」
		60億円	8116万6千円	2億円	58億3883万4千円	重要性 A	特記事項 特になし				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.8				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし				

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	主な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道一般改築)			補助・単独別	補助	建設部 道路建設課			
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
13	(国)403号 こうたか いのうえ 幸高～井上 かくふく 拡幅 (須坂市)	道路築造工 L=810m W=13.0(25.0)m (うち橋梁1橋 L=33.0m) (工期:H19～H26)	用地補償 一式	用地補償 一式	道路築造工 L=810m (うち橋梁1橋 L=33.5m)	必要性 B	47%	計画どおり進んでいる。 用地買収の推進、橋梁下部工に着手する。	事業の重要性、効率性 及び緊急性は高い。 渋滞解消と歩行者 の安全確保のため、 事業を継続したい。	重要性、緊急性が認 められる。	「継続」
			25億円	1億6870万円	7000万円	13億1430万円	重要性 A	特記事項 特になし			
							効率性 A	B/C(費用対効果)=3.8			
							緊急性 A	住民参加状況等 地元が沿道の花を整備している。 今後の維持管理に対する協議 を実施予定。			
14	(国)406号 むらやまばし 村山橋 (長野市～ 須坂市)	道路築造工 L=2,150m W=13.0(25.0)m (うち橋梁1橋 L=837.8m) (工期:H2～H24)	旧橋撤去工 一式	旧橋撤去工 一式	旧橋撤去工 一式	必要性 A	98%	計画どおり進んでいる。 橋梁工事は完了し、供用済。 旧橋撤去工を実施。	全ての項目において 評価が高い。残事業 は旧橋撤去による河 川断面の確保のみで あり、事業を継続し たい。	必要性、重要性が認 められる。	「継続」
			235億円	3億6149万4千円	3億円	3億8550万6千円	重要性 A	特記事項 H21再評価「継続」			
							効率性 A	B/C(費用対効果)=1.3			
							緊急性 A	住民参加状況等 地元で花壇植栽等の活動を行 っている。			
15	(国)406号 にしぐみ 西組 バイパス (長野市)	道路築造工 L=2,100m W=6.0(7.5～9.75)m (うちトンネル L=505m)(うち橋梁1 橋 L=177m) (工期:H22～H29)	橋梁設計 一式 地質調査 一式	用地測量 一式 物件調査 一式 用地補償 一式	道路築造工 L=2,100m (うちトンネル L=515m) (うち橋梁1橋 L=210m)	必要性 A	1%	計画どおり進んでいる。 設計を進めており、今後 用地買収を実施する。	必要性及び効率性は 高い。北信地域の生 活路線の幅員狭小か つ線形不良区間の解 消のため、事業を継続 したい。	必要性が認められ る。	「継続」
			41億円	4907万3千円	1億5000万円	40億5092万7千円	重要性 B	特記事項 環境配慮制度対象箇所			
							効率性 A	B/C(費用対効果)=2.3			
							緊急性 B	住民参加状況等 特になし			
16	(国)117号 かえさし じずま 替佐～静岡 バイパス (中野市～ 飯山市)	道路築造工 L=7,670m W=6.5(12.75)m (うち橋梁7橋 L=588.5m) (工期:H元～H24)	道路築造工 L=500m	水路工 一式	道路築造工 L=3,300m	必要性 B	94%	豊田飯山ICから飯山市側 が供用済であり、中野市 側の道路築造工を実施。	事業の重要性及び効 率性は高い。線形不 良、幅員狭小区間解 消のため、事業を継続 したい。	予定工期内での完了 を図る。	「継続」
			91億3900万円	1億3265万9千円	2000万円	5億1144万2千円	重要性 A	特記事項 H20再評価「継続」			
							効率性 A	B/C(費用対効果)=2.2			
							緊急性 B	住民参加状況等 特になし			

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	主な道路の整備		事業番号、事業名		38 道路改築(国道一般改築)		補助・単独別		補助		建設部 道路建設課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
17	(国)292号 とみらく 富倉 バイパス (飯山市)	道路築造工 L=3,910m W=6.5(9.75)~6.5 (11.75)m (うち橋梁10橋 L=198m) (工期:S60~H23)	道路築造工 L=300m 橋梁上部工 2橋	道路築造工 L=200m	道路築造工 L=200m	必要性 A	98%	計画どおり進んでいる。 約3.7kmを供用済。残区間である濁池工区の 道路築造工を実施。H23完了。	事業の必要性、重要 性、効率性は高い。事 業を継続し、H23に残 区間である濁池工区 の道路築造工を実施 し、大型車行き違いの 困難を解消したい。	平成23年度での完了 を図る。	「継続」	
		57億2020万円	3億円	1億2900万円	1億2900万円	重要性 A	特記事項 H20再評価「継続」					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.4					
					緊急性 B	住民参加状況等 特になし						
18	(国)403号 ちゅうおうばし 中央橋 かけかえ 架替 (飯山市)	道路築造工 L=815m W=6.5(15.0)m (うち橋梁1橋 L=365m) (工期:H21~H28)	橋梁下部工 3基	橋梁下部工 5基 橋梁上部工 1橋	道路築造工 L=815m (うち橋梁1橋 L=365m)	必要性 B	14%	計画どおり進んでいる。 平成26年の北陸新幹線飯山駅開業(予定)に 供用をあわせるため橋梁工を実施する。	事業の重要性が高 い。平成26年度開業 (予定)の北陸新幹線 飯山駅アクセス道路 の老朽橋架替のため、 事業を継続した い。	重要性が認められ る。	「継続」	
		60億円	7億2500万円	11億9500万円	51億8500万円	重要性 A	特記事項 北陸新幹線関連事業(H26開業予定)					
						効率性 B	B/C(費用対効果)=3.9					
					緊急性 B	住民参加状況等 特になし						
合計	18箇所	1615億8905万6千円	62億9896万7千円	51億7000万円	631億1159万円			A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満				

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	主な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道小規模改築)			補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
1	(国)299号 いとやかやくふく 糸萱拡幅 (茅野市)	道路築造工 L=330m W=6.5(11.0)m (うち橋梁1橋 L=32m) {工期:H20~H24}	橋梁下部工 2基 橋梁上部工 1橋	道路築造工 L=169m	道路築造工 L=305m	必要性 A	58%	計画どおり進んでいる。 橋梁が完成し、道路築造工を実施。	事業の必要性、重要性及び効率性は高い。地元の要望も高く、線形不良箇所の解消を行うため、事業を継続したい。	必要性、重要性が認められる。	「継続」
		6億円	1億8000万円	1億4000万円	2億5430万円	重要性 A	特記事項 特になし				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=6.7				
						緊急性 B	住民参加状況等 道路及び道路周辺の草刈りや側溝清掃を地元自治会により定期的に実施しており、今後も実施予定。				
2	(国)151号 にいのとうげ 新野峠 バイパス (阿南町~ 売木村)	道路築造工 L=1,600m W=6.5(9.0)m {工期:H19~H24}	道路築造工 L=300m	道路築造工 L=250m	道路築造工 L=1,400m	必要性 B	46%	計画どおり進んでいる。 用地買収及び、道路築造工を実施、0.6kmを部分供用。	重要性及び効率性の評価は高い。路線中唯一の未改良区間であり、大規模地震発生時などの輸送路を始め観光振興等、整備に対する期待は大きい。そのため、事業を継続したい。	重要性が認められる。	「継続」
		10億円	1億4999万4千円	1億円	5億4310万6千円	重要性 A	特記事項 特になし				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.1				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし				
3	(国)256号 かみさかたかくふく 上久堅拡幅 (飯田市)	道路築造工 L=1,800m W=6.0(9.75)m {工期:H21~H24}	道路築造工 L=200m	道路築造工 L=200m	道路築造工 L=1,800m	必要性 A	14%	計画どおり進んでいる。 用地買収及び、道路築造工を実施。	事業の必要性、重要性及び効率性は高い。平成20年代後半に予定されている三遠南信自動車道飯田東インターチェンジ(仮称)への直結道路。三遠南信自動車道飯田東IC(仮称)開通に合わせるため、事業を継続したい。	必要性、重要性が認められる。	「継続」
		14億7000万円	1億6000万4千円	2億円	12億5999万6千円	重要性 A	特記事項 三遠南信自動車道飯田東インターチェンジ(仮称)への直結道路。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.2				
						緊急性 B	住民参加状況等 長野県指定の貴重指定植物を計画地から移植し、地元による管理を行う。				
4	(国)418号 のたけ 野竹 ~戸口拡幅 (天龍村)	道路築造工 21箇所 L=1,640m W=5.5(7.0)m {工期:H18~H24}	道路築造工 L=239m	道路築造工 L=140m	道路築造工 4箇所 L=340m	必要性 B	83%	計画どおり進んでいる。 16箇所が完了、残5箇所うち3箇所について実施。	事業の重要性及び効率性は高い。地元からの要望も高く、幅員狭小区間を部分的に解消することにより、通行車両の安全性を図るために事業を継続したい。	重要性が認められる。	「継続」
		13億5000万円	2億9688万8千円	1億円	2億3511万2千円	重要性 A	特記事項 特になし				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.0				
						緊急性 B	住民参加状況等 中組地区はアダプトシステムにより地元が維持管理に参加している。				

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	主な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道小規模改築)			補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
5	(国)256号 うるしばたかくふく 漆畑拡幅 (南木曾町)	道路築造工 L=1,650m W=6.0(7.5)m (うち橋梁2橋 L=26m) (工期:H20~H24)	道路築造工 L=590m	道路築造工 L=600m	道路築造工 L=1,445m (うち橋梁2橋 L=26m)	必要性 B	38%	計画どおり進んでいる。 2工区が完了し、引き続き1工区を実施。	事業の重要性及び効率性は高い。木曾路・中山道と伊那谷を結ぶ主要幹線であり、住民生活や地域経済の発展に大きく寄与するため、事業継続したい。	重要性が高い。	「継続」
		12億円	2億4072万9千円	4500万円	7億4727万1千円	重要性 A	特記事項 特になし				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.9				
						緊急性 B	住民参加状況等 現在、道路及び道路周辺の清掃を地元関係者と定期的に実施しており、今後も実施予定。				
6	(国)143号 あかたかくふく 岡田拡幅 (松本市)	道路築造工 L=1,260m W=6.5(11.5)m (工期:H15~H24)	用地補償 一式	道路築造工 L=80m	道路築造工 L=350m	必要性 B	89%	これまでに約1kmが供用し、残区間の用地買収及び道路築造工を実施。	事業の重要性、効率性は高い。交通量が非常に多いにも関わらず幅員が狭く歩道がないため、交通安全上、支障を来している。事業に対する地元の熱意は強く自主的な調整を積極的に行っているため、事業を継続したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
		15億4000万円	1億円	1億円	1億6200万円	重要性 A	特記事項 特になし				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.5				
						緊急性 B	住民参加状況等 道路及び道路周辺の草刈りや側溝清掃を地元自治会により定期的に実施しており、今後も実施予定。				
7	(国)406号 みねかた 嶺方 (白馬村)	道路築造工 L=1,230m W=5.5(7.0)m (工期:H21~H23)	道路築造工 L=90m	道路築造工 L=540m	道路築造工 L=540m	必要性 B	53%	計画どおり進んでいる。 用地買収及び道路築造を引き続き実施しH23完了予定。	地域からの要望も高く、事業を継続しH23完了することで幅員狭小を解消し、大型バスの通行の円滑化を図りたい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		3億4771万9千円	1億6000万4千円	1億5971万5千円	1億6471万5千円	重要性 B	特記事項 特になし				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.4				
						緊急性 B	住民参加状況等 地元区による沿道環境整備への取り組みが盛んであり、花壇の整備や沿道の草刈りを自主的に実施しており、今後も実施予定。				
8	(国)403号 さかくち 坂口 (木島平村)	道路築造工 L=500m W=6.5(12.0)m (工期:H20~H23)	道路築造工 L=130m	道路築造工 L=140m	道路築造工 L=140m	必要性 A	69%	計画どおり進んでいる。 360m供用済。引き続き残区間の用地買収と道路築造を実施。H23完了予定。	必要性は高い。地域からの要望も高く、事業を継続しH23完了することで、すれ違い困難箇所を解消することによる、通行車両の安全性を図りたい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		3億4989万3千円	9999万3千円	1億800万円	1億800万円	重要性 C	特記事項 北陸新幹線関連事業(H26開業予定)				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=3.1				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし				

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	主な道路の整備		事業番号、事業名 38 道路改築(国道小規模改築)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
9	(国)403号 あまあい 落合 (木島平村～ 山ノ内町)	道路築造工 L=720m W=6.0(7.5)m (うち橋梁1橋 L=72m) 〔工期:H22～H25〕 7億円	橋梁設計 一式 用地測量 一式 用地補償 一式 6870万円	道路築造工 L=80m 4000万円	道路築造工 L=720m (うち橋梁1橋 L=77m) 6億3130万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 B	10% 特記事項 北陸新幹線関連事業(H26開業予定) B/C(費用対効果)=2.6 住民参加状況等 特になし	計画どおり進んでいる。 表落合工区の用地補償を完了し、道路築造 工及び裏落合工区の調査を推進する。	必要性及び効率性は 高い。地域からの要望 も強く、生活路線の幅 員狭小かつ線形不良 区間の解消のため、 事業を継続したい。	必要性が認められ る。	「継続」	
合計	9箇所	85億5761万2千円	14億5631万2千円	9億9271万5千円	41億580万円		A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満					

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
1	(主)川上佐久線 入沢～三分 (佐久市)	道路築造工 L=1,965m W=6.0 (10.0)m 〔工期:H17～H24〕	道路築造工 L=1,765m	道路築造工 L=200m 旧道処理工 L=2000m	道路築造工 L=200m 旧道処理工 L=4300m	必要性 A	81%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は引き続き道路築造工を進める。	平成20年度に供用開始した羽黒山バイパスと併せて効果が早期発現できるよう、継続して事業を実施したい。	緊急性が高く、必要性も認められる。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 H20年度に供用開始した羽黒山バイパスに接続する道路である。					
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 1.5					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
2	(主)下仁田軽井沢線 南軽井沢 (軽井沢町)	道路拡幅工 L=980m W=13.0 (36.0)m 〔工期:H19～H23〕	道路拡幅工 L=660m	道路拡幅工 L=360m	道路拡幅工 L=360m	必要性 B	81%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は引き続き交差点箇所及び拡幅工事を進め事業完了の予定。	地域住民が一体となった国際観光都市軽井沢の慢性的な渋滞対策の取り組みを支援するものであり、南軽井沢交差点の改良も一体的に実施し、平成23年度完了を図るため、継続して事業を実施したい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 H22変更:道路拡幅工延長210m増 事業費2億円増 南軽井沢交差点の改良も含めて実施する					
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 2.8					
						緊急性 A	住民参加状況等 H12に渋滞の改善を目的とした交通快適化委員会が設立、継続的に開催されている。					
3	(一)松原湖高原線 松原 (小海町)	道路築造工 L=860m W=6.0(10.0)m 〔工期:H20～H23〕	道路築造工 L=300m	道路築造工 L=320m	道路築造工 L=320m	必要性 A	79%	平成23年度は引き続き道路築造工を進め、事業完了の予定。	観光地内の道路として早期の整備が望まれている。人家連坦地区の改良は行わず事業規模を縮小し、平成23年度の完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「縮小」	
						重要性 A	特記事項 H23変更:道路築造工延長140m減 事業費1億4500万円減 人家連坦地区の改良は今回事業で実施しない					
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 1.5					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
4	(一)上野小海線 山口 (北相木村)	道路拡幅工 L=285m W=5.5(8.25)m 〔工期:H22～H26〕	測量設計 1式	用地補償 1式	道路拡幅工 L=285m	必要性 B	2%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は用地補償を実施する。	中山間地域の生活を支える道路として整備の必要性も高いことから、継続して事業を実施したい。	拡幅改良の必要性が認められる。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 H22変更:県単事業(継続)から交付金事業へ移行した。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.1					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					

分野	主要な道路の整備		事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)			補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
5	(主)川上佐久線 ひがしながし 東馬流 (小海町)	道路拡幅工 L=240m W=5.5(6.5)m [工期:H22~H26]	測量設計 1式	道路拡幅工 L=70m	道路拡幅工 L=240m	必要性 B	4%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は用地補償・道路拡幅工を実施する。	国道141号を補完する 唯一の道路であり、災害時の幹線道路としての機能の確保と生活道路としての安全確保を行う必要があるため、継続して事業を実施したい。	拡幅改良の必要性が認められる。	「継続」	
		1億5000万円	641万円	3000万円	1億4359万円	重要性 B	特記事項 H22変更: 県単事業(新規)から交付金事業へ移行した。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.8					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
6	(主)川上佐久線 たかいわ 高岩 (佐久穂町)	道路拡幅工 L=200m W=5.5(7.0)m [工期:H22~H25]	測量設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L=200m	必要性 B	5%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は測量設計を完了し、用地補償を実施する。	生活道路または国道141号を緊急時に補完する道路として緊急に整備を進める必要があるため、継続して事業を実施したい。	緊急性は認められる。	「継続」	
		1億200万円	532万円	4000万円	9668万円	重要性 C	特記事項 H22変更: 県単事業(継続)から交付金事業へ移行した。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.3					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
7	(主)下仁田 あさしなせん 浅科線 しが 志賀 (佐久市)	道路拡幅工 L=370m W=5.5(9.25)m [工期:H22~H26]	測量設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L=370m	必要性 A	2%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は測量設計を完了し、用地補償を実施する。	大型車交通の著しい幅員狭隘道路の整備により、通過交通の円滑化と通学児童の安全確保を図る必要があるため、継続して事業を実施したい。	必要性は認められる。	「継続」	
		2億円	448万円	5000万円	1億9552万円	重要性 C	特記事項 H22変更: 県単事業(新規)から交付金事業へ移行した。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.7					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
8	(一)塩名田 まつくせん 佐久線 なかざと 中佐都 (佐久市)	道路拡幅工 L=980m W=6.0(9.75)m [工期:H22~H29]	測量設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L=980m	必要性 A	3%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は用地測量・用地補償を実施する予定。	中部横断自動車道の開通に伴う通過交通の円滑化と歩行者の安全確保のために早期の整備が必要であるため、継続して事業を実施したい。	必要性は認められる。	「継続」	
		3億5000万円	904万円	6000万円	3億4096万円	重要性 C	特記事項 H22変更: 県単事業(新規)から交付金事業へ移行した。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.5					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
9	(一)小諸中 込線 つかほ原 塚原 (佐久市)	道路拡幅工 L=550m W=6.0(8.75)m (工期:H22~H26)	測量設計 1式 用地測量 1式	用地測量 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L=550m	必要性 A	7%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は用地補償を実施し、道路拡幅工に着手する。	通過交通の円滑化と通学児童の安全確保のために、早期の整備が必要であるため、継続して事業を実施したい。	必要性は認められる。	「継続」	
		1億9000万円	1236万円	7000万円	1億7764万円	重要性 C	特記事項 H22変更:県単事業(新規)から交付金事業に移行した。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.2					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
10	(一)立科小 諸線 おおくぼ 大久保 (小諸市)	道路拡幅工 L=210m W=6.0(8.0)m (工期:H22~H26)	測量設計 1式 用地測量 1式	道路拡幅工 L=150m	道路拡幅工 L=210m	必要性 B	47%	平成23年度は引き続き道路拡幅工を実施する。	地域住民の生活道路であるとともに、県外者の観光地へのアクセス道路として利用されており継続して事業を実施したい。なお、大規模な切土を含む区間の改良は行わず事業規模を縮小し、早期の整備を図りたい。	拡幅改良の必要性は認められる。	「縮小」	
		2億3800万円	1億1198万円	5500万円	1億2602万円	重要性 C	特記事項 H22変更:県単事業(継続)から交付金事業に移行した。 道路拡幅工延長310m減 大規模な切土を含む改良は今回事業で実施しない。					
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.2					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
11	(一)塩田仁 古田線 五加 (上田市)	道路築造工 L=340m W=6.0(12.0)m (うち橋梁 L=26m) (工期:H18~H23)	橋梁工 L=26m	道路築造工 L=80m	道路築造工 L=80m	必要性 A	94%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は道路築造工を実施し、事業完了の予定。	残区間は供用済みの五加橋への取付部であり、23年度完了を図るため継続して事業を実施したい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
		6億8300万円	2億500万円	4000万円	4000万円	重要性 B	特記事項 特になし。					
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 1.6					
						緊急性 A	住民参加状況等 県内で最も古いといわれるコンクリート橋である五加橋の親柱の保存について、地元自治会が主体となって検討している。					
12	(一)東部望 月線 田之尻~畔 田 (東御市)	道路築造工 L=1,600m W=6.0 (10.0)m (工期:H19~H24)	埋蔵文化財調査 一式 道路築造工 L=980m	用地・補償 一式 道路築造工 L=420m	道路築造工 L=1,600m	必要性 A	64%	代替地の斡旋にやや時間を要している。平成23年度は引き続き用地補償及び道路築造工を進める。	PI手法による計画策定により地域の合意形成が良好である。第2次緊急輸送路であることから緊急度も高いため、継続して事業を実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」	
		6億2200万円	1億9800万円	1億1730万円	2億2280万円	重要性 B	特記事項 特になし。					
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 2.8					
						緊急性 A	住民参加状況等 PI(住民参加)によりルート検討を実施					

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
13	(一) 東部望 月線 常田	道路築造工 L=300m W=6.5(14.0)m 〔工期:H21～H25〕	物件調査、用地 補償一式	用地補償 1式 道路築造工 L=70m	道路築造工 L=300m	必要性 A	55%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は用地補償を進め、道路築造工 に着手する。	地元合意形成も良好 であり、緊急性が高い ことから、継続して事 業を実施したい。	必要性、緊急性が認 められる。	「継続」	
		重要性 B				特記事項 特になし。						
	効率性 A	B/C(費用対効果) = 3.0										
	緊急性 A	住民参加状況等 街路事業により整備された隣接区間は、地域の方々が主体と なった沿道美化活動が行われている。本区間についても活動意										
	(東御市)	4億5000万円	2億2520万円	5000万円	2億430万円							
14	(主) 別所丸 子線 柳沢	道路築造工 L=1,500m W=6.0(7.5)m 〔工期:H22～H26〕	概略ルートの特 討	用地測量、用地 補償 1式	道路築造工 L=1,500m	必要性 B	0%	ルートの決定に時間を要している。 平成23年度は詳細設計・用地補償に着手す る。	生活道路としての安全 確保を図るとともに、 観光地へのアクセス 機能の向上による地 域産業の活性化に寄 与する事業であるた め、継続して事業を実 施したい。	バイパス整備の必要 性は認められる。	「継続」	
		重要性 C				特記事項 H22変更: 県単事業(新規)から交付金事業に移行した。 H23変更: 道路築造工延長200m増 現道への取付位置を変更						
	効率性 B	環境配慮制度対象箇所 B/C(費用対効果) = 3.2										
	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。										
	(上田市)	4億5000万円	0円	3000万円	4億5000万円							
15	(主) 別所丸 子線 なかまるこ 中丸子	道路築造工 L=320m W=6.0(12.0)m 〔工期:H22～H25〕	用地補償 1式	道路築造工 L=70m	道路築造工 L=320m	必要性 A	25%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は用地補償を推進し、道路築造 工に着手する。	車両及び歩行者の事 故防止のため、緊急な 整備が必要であり、上 田市事業と併せて効 果を発現できるよう、 継続して事業を実施し たい。	必要性は認められ る。	「継続」	
		重要性 C				特記事項 H22変更: 県単事業(継続)から交付金事業に移行した。 上田市で実施している道路改築事業が国道152号を境に隣接し ている。交差点部の改良等、今後調整が必要。						
	効率性 A	B/C(費用対効果) = 3.6										
	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。										
	(上田市)	2億円	5048万円	7000万円	1億4952万円							
16	(主) 丸子東 部インター線 下丸子～ 長瀬	道路築造工 L=640m W=6.0(9.5)m 〔工期:H22～H26〕	用地測量 1式	用地補償 1式	道路築造工 L=640m	必要性 A	2%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は用地補償を推進する。	生活道路としての安全 確保を図るとともに、 東部湯の丸ICのアク セス機能の向上による 観光産業の活性化に 寄与する事業であるた め、継続して事業を実 施したい。	必要性は認められ る。	「継続」	
		重要性 C				特記事項 H22変更: 県単事業(新規)から交付金事業に移行した。						
	効率性 A	B/C(費用対効果) = 4.5										
	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。										
	(上田市)	2億8000万円	651万円	3000万円	2億7349万円							

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)			補助・単独別		補助	建設部 道路建設課				
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況					
17	(主)東御嬢恋線 54番観音～ 56番観音 (東御市)	道路築造工 L=294m W=6.0(7.5)m [工期:H22～H25]	測量設計 1式	道路築造工 L=56m	道路築造工 L=294m	必要性 B	0%	保安林解除申請手続に時間を要している。 平成23年度は道路築造工に着手する。	東御市中心部から湯丸高原に至るまでの間の路線最後の未改良区間であり、早急な整備が望まれることから、継続して事業を実施したい。	大型車対策の必要性は認められる。	「継続」		
		1億2000万円		24万円	4000万円	1億1976万円	重要性 C					特記事項 H22変更: 県単事業(継続)から交付金事業に移行した。	
							効率性 B						B/C(費用対効果) = 1.4
							緊急性 C						
18	(一)払沢茅野線 みやがけの宮川茅野 (茅野市)	道路築造工 L=210m W=6.0(12.0)m [工期:H22～H26]	物件調査、用地補償一式	物件調査、用地補償一式	道路築造工 L=210m	必要性 A	10%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は引き続き用地補償を進める。	国道20号坂室バイパスと関連した事業であり、県道事業に合わせて土地区画整理事業も実施されていることから、継続して事業を実施したい。	緊急性が高く、必要性、重要性も認められる。	「継続」		
		11億円		1億843万円	4000万円	9億9157万円	重要性 A					特記事項 宮川茅野土地区画整備事業の進捗に合わせた事業執行を図る。	
							効率性 A						B/C(費用対効果) = 1.6
							緊急性 A						
19	(主)伊那生田飯田線 たぎり田切 (飯島町)	道路築造工 L=1000m W=6.0(10.0)m [工期:H22～H25]	測量設計、用地補償一式	用地補償 一式 道路築造工 L=180m	道路築造工 L=1000m	必要性 A	18%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は引き続き用地補償を進め、道路築造工に着手する。	国道153号伊南バイパスと関連した事業であり、現道交通ネック区間の回避を図ることから、継続して事業を実施したい。	必要性が認められる。	「継続」		
		10億円		1億8000万円	2億円	8億2000万円	重要性 B					特記事項 国道153号伊南バイパスの進捗に合わせた事業執行を図る。 環境配慮制度対象箇所	
							効率性 A						B/C(費用対効果) = 2.2
							緊急性 B						
20	(主)飯田富山佐久間線 よなみね米峰 (飯田市)	道路築造工 L = 320m W=6.0(8.0)m (うち橋梁 L=150m) [工期:H19～H24]	橋梁上部工	橋梁上部工 一式	橋梁上部工 道路築造工L=170m	必要性 B	58%	平成23年度は、引き続き橋梁上部工の進捗を図る。	当ネック区間を解消することにより、前後に隣接する整備済み区間との一体的な整備効果が発現されることから、継続して事業を実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」		
		9億円		2億1950万円	2億円	3億7520万円	重要性 B					特記事項 特になし。	
							効率性 A						B/C(費用対効果) = 1.5
							緊急性 B						

分野	主要な道路の整備		事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)			補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
21	てんりゅう (主)天竜公 園阿智線 こが 伍和 (阿智村)	道路築造工 L=1,040m W=6.0 (8.0)m (うちトンネル工 L=318m、橋梁工 L=109m) [工期:H18~H27]	道路築造工 L=370m	橋梁上部工 一 式	道路築造工L=670m トンネル工 L=318m、橋梁工 109m	必要性 B	39%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は橋梁上下部工を実施する。	当工区は中抜け区間 であり、狹隘で線形が 悪く交通のネックと なっており地元要望も 強いいため、継続して事 業を実施したい。	重要性が認められ る。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 特になし。					
		23億円	4億7577万円	2億7000万円	13億9543万円	効率性 A	B/C(費用対効果) = 2.0					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
22	よなかわい (一)米川飯 田線 てんりゅうばし 天竜橋 (飯田市)	道路築造工 L=146m W=6.0(12.0)m (うち橋梁 L=94.2m) [工期:H11~H23]	旧橋撤去工	旧橋撤去工	旧橋撤去工	必要性 A	97%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は旧橋下部工の撤去を実施し、 事業完了の予定。	平成21年度までに新 橋の供用を開始しており、 残事業は旧橋撤去 であり、平成23年度完 了となることから、継 続して事業を実施した い。	平成23年度での完了 を図る。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 H20再評価:「継続」					
		23億1000万円	2億円	7700万円	7700万円	効率性 A	B/C(費用対効果) = 1.0					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
23	(主)飯田富 やまさ(ま)せん 山佐久間線 なかあ なんぐう 中尾~南宮 (泰阜村~ 阿南町)	道路築造工 L=1,251m W=6.0(8.0 ~11.0)m (うちトンネル L=381m、JRボックス L=55m) [工期:H14~H24]	舗装工	道路設計 一式 物件調査、用地 補償一式	道路築造工(JRボッ クス)L=55m	必要性 A	72%	JRとの調整に時間を要し、関連区間の工事 着手が遅れている。平成23年度からJR飯田 線交差部の工事に着手する。	阿南病院など医療施 設も近接し、民生の安 定という観点では非常 に重要であり、継続し て事業を実施したい。	予定工期内での完了 を図る。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 特になし。					
		46億円	4775万円	1億円	13億900万円	効率性 B	B/C(費用対効果) = 1.4					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
24	(一)あおきびが かみせん 鼎線 かみやま 上山 (飯田市)	道路築造工 L=400m W=6.0(16.0)m [工期:H21~H26]	物件調査、用地 補償一式	物件調査、用地 補償一式	道路築造工L=400m	必要性 A	23%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は引き続き用地補償を進める。	隣接する街路事業実 施に伴って地元の受 入れ態勢も整ってい ることから、継続して 事業を実施したい。	緊急性が高く、必要 性も認められる。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 都市計画変更の作業を進めている。					
		10億円	2億1768万円	5000万円	7億7142万円	効率性 A	B/C(費用対効果) = 1.7					
						緊急性 A	住民参加状況等 自治会が独自に事業パンフレットを作成し地域合意醸成を進めて いる。					

分野	主要な道路の整備		事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)			補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
25	飯島飯田線 (主)飯島飯田線 きりしき きたかた 切石～北方 (飯田市)	道路築造工 L=660m W=13.0(22.0)m (うちトンネルL=80m) (工期:H17～H24)	物件調査、用地補償一式	物件調査、用地補償一式	道路築造工L=660m	必要性 A	50%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は引き続き用地補償を進める。	街路事業で実施中である隣接工区と進捗を合わせるため、継続して事業を実施したい。	緊急性が高く、必要性、重要性も認められる。	「継続」	
		50億円	10億円	3億6400万円	24億8500万円	重要性 A	特記事項 特になし。					
						効率性 A		B/C(費用対効果) = 3.3				
						緊急性 A		住民参加状況等 特になし。				
26	開田三岳福島線 (主)開田三岳福島線 かわい川合 (木曾町)	道路築造工 L=528m W=6.0(8.0)m (うちトンネルL=218m 橋梁L=80m) (工期:H19～H24)	橋梁下部工 橋梁上部工 道路築造工 L=60m	橋梁上部工 L=80m トンネル工 一式	道路築造工L=468m 橋梁上部工 トンネル工L=218m	必要性 B	34%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は引き続き橋梁上部工を進める。	当該地域唯一の路線であり、交通ネック箇所の早期解消が望まれているため、継続して事業を実施したい。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		14億1800万円	2億円	2億3000万円	9億3430万円	重要性 A	特記事項 国道19号と木曾川右岸道路の連絡道路。木曾町合併支援。					
						効率性 A		B/C(費用対効果) = 2.1				
						緊急性 A		住民参加状況等 特になし。				
27	奈川木祖線 (主)奈川木祖線 さかたけ境峠 (木祖村)	道路築造工 L=2,440m W=6.0(8.0)m (工期:H20～H24)	道路築造工 L=570m	道路設計一式 道路築造工 L=40m	道路築造工 L=1,350m	必要性 B	35%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は引き続き用地補償及び道路築造工を実施する。	伊那、木曾方面から上高地方面への最短経路として重要性が増しており、峠付近の要対策箇所も一体的に整備する必要があるため、事業を拡大して実施したい。	狭あい区間の追加整備の必要性が認められる。	「拡大」	
		8億7000万円	1億6000万円	5000万円	5億6300万円	重要性 A	特記事項 H23変更:道路築造工延長440m増 境峠頂上付近の狭あい区間の改良も含めて実施する					
						効率性 A		B/C(費用対効果) = 4.9				
						緊急性 A		住民参加状況等 特になし。				
28	上松南木曾線 (一)上松南木曾線 のぼりま わらわ登玉～和村 (上松町～大桑村)	道路築造工 L=3,210m W=5.5(8.0)m (うち橋梁工L=94m トンネル工L=697m) (工期:H22～H28)	測量設計、用地補償一式	道路設計 一式 橋梁下部工	道路築造工 L=3,210m 橋梁工L=94m トンネル工L=697m	必要性 B	1%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は用地補償・橋梁下部工を実施する。	国道19号の代替路線として重要性が高く、地元の受入態勢も整っているため、継続して事業を実施したい。	重要性が認められる。	「継続」	
		43億円	6210万円	1億円	42億3790万円	重要性 A	特記事項 特になし。					
						効率性 A		B/C(費用対効果) = 2.0				
						緊急性 B		住民参加状況等 特になし。				

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)				補助・単独別	補助	建設部 道路建設課
----	----------	----------	--------------	--	--	--	--------	----	-----------

番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
29	しらほねお (一)白骨温泉線 白膏 (松本市)	道路築造工 L=1,064m W=4.0 (6.0)m (工期:H20~H24)	道路築造工 L=70m	道路築造工 L=550m	道路築造工L=880m	必要性 B	43%	平成23年度は待避所設置及びロードヒーティング工事を実施する。	地元からの冬期通行止め解除の要請が強いことから、平成25年冬からの冬期通行止め解除に向けて、継続して事業を実施したい。	重要性が認められる。	「継続」
		11億9400万円	1億5700万円	3億7326万円	6億7545万円	重要性 A	特記事項 平成25年冬からの冬期通行止め解除。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.1				
						緊急性 B	住民参加状況等 地元温泉組合とともに冬期通行止め解除に向け、「冬期安全確保マニュアル」の策定に取り組んでいる。				
30	かみこうち (主)上高地公園線 上高地 (松本市)	道路築造工 L=800mW=6.0(7.0)m (うちトンネル L=588m) (工期:H21~H26)	測量設計一式	道路築造工 L=50m トンネル工	道路築造工L=800m トンネル工 L=588m	必要性 B	7%	平成23年度はトンネルの詳細設計を進め、工事に着手する。	平成21年5月に落石による死亡事故が発生しており、国内有数の観光地である上高地へのアクセスを安全にするため、継続して事業を実施したい。	落石対策の必要性が認められる。	「継続」
		26億円	6300万円	2億5000万円	24億1100万円	重要性 C	特記事項 国立公園内であるため、特に環境に配慮する必要がある。平成21年5月14日の落石による死亡事故を受け、学識経験者らによる防災対策検討委員会において、環境・安全性・コストに配慮した対策工法としてトンネルが最適との結論が出された。B/C(費用対効果)=1.3				
						効率性 A					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
31	どあい (一)土台まつもとせん 松本線 くこうにし 空港西 (松本市)	道路築造工 L=1,243m W=6.0 (10.0)m (工期:H19~H23)	道路築造工 L=1,143m	道路築造工 L=100m	道路築造工L=100m	必要性 A	98%	計画どおり進んでいる。平成23年度は引き続き道路築造工を進め事業完了の予定。	信州まつもと空港の活性化に寄与し、平成23年度に事業完了することから、継続して事業を実施したい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		6億3290万円	1億8300万円	1000万円	1000万円	重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.2				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
32	おおまちお (主)大町麻績インター千曲線 山清路 (生坂村)	道路築造工 L=480m W=5.5(7.0)m (うち橋梁工L=130m) (工期:H22~H25)	測量設計 1式	測量設計一式 物件調査、用地 補償一式	道路築造工L=480m	必要性 A	3%	計画どおり進んでいる。平成23年度は引き続き用地補償を進め道路築造工に着手する。	岩盤崩落により全面通行止めとなっている生坂橋及び、重量制限のある旧山清路橋を回避するため継続して事業を実施したい。	必要性が認められる。	「継続」
		10億円	3014万円	8400万円	9億6986万円	重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.3				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)			補助・単独別	補助	建設部 道路建設課
----	----------	----------	--------------	--	--	--------	----	-----------

番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
33	(主) 穂高 あかしなせん 明科線 ときわばし 常盤橋 (安曇野市)	道路築造工 L=600m W=6.5(12.5)m (うち橋梁 L=99m) [工期:H20~H25]	仮設道路工	旧橋撤去工 橋梁下部工	道路築造工L=600m	必要性 A	29%	平成22年度は仮橋工事が完了し、平成23年度は橋梁下部工に着手する。	安曇野市の旧穂高地区と旧明科地区を結ぶ主要な道路であるため、継続して事業を実施したい。	必要性が高い。	「継続」
						重要性 B	特記事項 H23変更:事業費4億円増 仮設橋設置工費及びリース料が増加				
		12億円	1億4000万円	2億5000万円	8億4720万円	効率性 A	B/C(費用対効果) = 1.8				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
34	(一)千国 ほくしょうせん 北城線 つがいけ 梅池 (小谷村~ 白馬村)	道路築造工 L=400m W=6.0(11.0)m (うち橋梁 L=291m) [工期:H21~H27]	橋梁下部工 橋梁上部工	橋梁上部工 道路築造工 L=350m	道路築造工 L=350m	必要性 A	47%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は引き続き橋梁上部工を進める。	スキー場へのアクセス強化により観光の活性化に資する事業であるため、継続して事業を実施したい。	必要性、重要性は認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 希少動植物保護のため、継続的に環境調査を行うとともに、工法の検討を行った。				
		19億円	4億1000万円	3億3200万円	10億1440万円	効率性 A	B/C(費用対効果) = 1.7				
						緊急性 B	住民参加状況等 地域住民が貴重動植物に関する情報の提供や保護に積極的に参加している。				
35	(一)うかわ おぼすていしや 姨捨停車 じょうせん 場線 かむりばし 冠着橋 (千曲市)	道路築造工 L=844m W=6.0(11.0)m (うち橋梁 L=473m) [工期:H17~H28]	橋梁下部工	橋梁下部工 橋梁上部工	橋梁下部工 橋梁上部工 旧橋撤去工	必要性 A	35%	平成23年度は橋梁上下部工を進める。	幅員が4段階に変化し、幅員の狭い左岸側区間では信号処理により片側通行している。また、老朽化もかなり進んでおり、早急に架け替えの必要があるため、継続して事業を実施したい。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
		45億円	4億5000万円	2億円	29億3490万円	効率性 B	B/C(費用対効果) = 1.0				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
36	(一)あいのしま 相之島 たかやません 高山線 ひたきばら 日滝原 (須坂市)	道路築造工 L=970m W=6.5(11.5)m [工期:H22~H24]	用地補償一式	道路築造工 L=150m	道路築造工L=970m	必要性 A	85%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は引き続き用地補償を推進し、道路築造工に着手する。	日滝原産業団地へのアクセス機能向上による企業誘致の促進及び生活道路の安全確保を図るため、継続して事業を実施したい。	必要性、重要性が認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 H22変更:県単事業(継続)から交付金事業へ移行した。 県営日滝原産業団地への企業誘致促進に関連する事業				
		3億円	1億577万円	1億2067万円	1億9400万円	効率性 A	B/C(費用対効果) = 1.6				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				

分野	主要な道路の整備		事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)			補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
37	(主)豊野南 志賀公園線 不動 (高山村)	道路築造工 L=440m W=6.0(8.0)m (工期:H22~H23)	道路築造工 L=440m	道路築造工(舗装工) L=440m	道路築造工(舗装工) L=440m	必要性 B	85%	平成23年度は舗装工を実施して事業完了の予定。	観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であり、平成23年度で完了するため、継続して事業を実施したい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
		1億300万円	8800万円	1500万円	1500万円	重要性 B	特記事項 H22変更:県単事業(継続)から交付金事業へ移行した。 横断構造物改修(大型ボックスカルバート) 1億9,000万円増					
						効率性 B	B/C(費用対効果) = 1.0					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
38	(主)豊野南 志賀公園線 おんせん 五色温泉~五色 (高山村)	道路築造工 L=334m W=5.5(7.0)m (工期:H22~H24)	道路築造工 L=76m	道路築造工 L=100m	道路築造工L=258m	必要性 B	11%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は12号カーブ工区の道路築造を実施する。	観光地内の道路であり、地域産業の活性化に寄与する事業であるため、継続して事業を実施したい。	拡幅改良の必要性は認められる。	「継続」	
		4億円	4200万円	8800万円	8800万円	重要性 C	特記事項 H22変更:県単事業(継続)から交付金事業へ移行した。 狹窪工区について、地質調査の結果、軟弱地盤であることを確認。その対策のために工法変更となった。 1億円増。					
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 1.5					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
39	(主)長野上 田線 塩崎 (長野市)	道路築造工 L=2,970m W=6.0(12.0)m (うち橋梁L=49m) (工期:H10~H23)	休止	用地補償一式	道路築造工L=150m	必要性 A	97%	一部地権者の反対により供用開始が遅れている。平成23年度は残り区間の用地を買収し、早期完了を目指す。	地元住民の早期完成の要望が高まっているなか、事業は全体の9割以上が完成しており平成23年度完了を図るため、バイパス全体の完成に向け継続して事業を実施したい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
		28億5580万円	0円	3700万円	3700万円	重要性 B	特記事項 H19再評価:「継続」 H22は事業認定申請のため休止。					
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 3.8					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
40	(一)松代篠ノ井線 赤坂橋 (長野市)	道路築造工 L=702m W=6.5(14.5)m (うち橋梁L=523.4m) (工期:H11~H23)	旧橋撤去工	旧橋撤去工	旧橋撤去工 旧道処理工	必要性 A	96%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は旧橋下部工撤去・旧道処理を実施する。	赤坂橋を含む道路新設部分はH20年度末に供用開始しており、残事業は旧橋撤去のみであり平成23年度に完了することから、継続して事業を実施したい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
		39億2800万円	1億円	1億5000万円	1億5000万円	重要性 B	特記事項 H20再評価:「継続」 平成21年3月に新橋供用開始					
						効率性 B	B/C(費用対効果) = 1.1					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
41	(主)丸子信 州新線 かばうち みやげいら 樺内～宮平 (長野市)	道路築造工 L=1,020m W=5.5 (9.25)m (うち橋梁 L=20m) (工期:H20～H26)	用地測量、用地 補償一式	物件調査、用地 補償一式	道路築造工 L=1020m	必要性 A	24%	平成23年度は引き続き用地買収を進め、道 路築造工に着手する。	中山間地域の生活を 支える道路として整備 の必要性も高いことから 、継続して事業を 実施したい。	必要性、重要性が認 められる。	「継続」	
		重要性 A				特記事項 旧大岡村中心地区。長野市との合併支援。						
		効率性 A										B/C(費用対効果) = 1.0
		緊急性 B										
7億円	7800万円	5000万円	5億3130万円									
42	(主)長野真 田線 まつしろ 松代 (長野市)	道路築造工 L=2,375m W=6.0 (12.0～16.0)m (工期:H20～H27)	道路築造工 L=400m	用地補償一式 道路築造工 L=150m	道路築造工 L=1975m	必要性 A	19%	平成23年度は引き続き用地境界の確認及び 道路築造工を進める。	松代市街地内を通過 する車両を排除するこ とで、歴史的町並みを 活用した地域の取り組 みに寄与するため、街 路事業と連携し、継続 して事業を実施した い。	必要性、重要性、緊 急性が認められる。	「継続」	
		重要性 A				特記事項 廃川敷の有効活用により道路を築造している。						
		効率性 A										B/C(費用対効果) = 1.6
		緊急性 A										
21億5000万円	2億9600万円	1億7381万円	17億4540万円									
43	(一)長野豊 野線 さんさい 三才 (長野市)	道路築造工 L=1,400m W=6.0 (14.0～16.0)m (工期:H22～H28)	道路築造工 L=300m	用地補償一式	道路築造工 L=1100m	必要性 A	7%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は用地補償を実施する。	沿線には、JR三才 駅、市立長野高校、県 立長野養護学校及び 国立長野高専があり、 交通のネックとなっ ている箇所の解消、歩 行者・自転車利用者の 安全を確保する必要が あることから、継続し て事業を実施したい。	必要性、重要性、緊 急性が認められる。	「継続」	
		重要性 A				特記事項 無電柱化事業を同時に実施する予定。						
		効率性 A										B/C(費用対効果) = 1.5
		緊急性 A										
20億円	1億4749万円	5000万円	18億5251万円									
44	(主)長野 菅平線 すがげいらした 菅平下 (長野市)	道路築造工 L=162m W=5.5(7.0)m (工期:H22～H24)	道路築造工 L=40m	道路築造工 L=67m	道路築造工L=122m	必要性 B	39%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は引き続き道路築造工を実施す る。	観光地へのアクセス 道路として早期の整備 が望まれていることか ら、継続して事業を 実施したい。	拡幅改良の必要性 は認められる。	「継続」	
		重要性 C				特記事項 H22変更: 県単事業(新規)から交付金事業へ移行						
		効率性 A										B/C(費用対効果) = 1.5
		緊急性 B										
1億8000万円	7000万円	3000万円	1億1000万円									

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
45	(一)豊田中野線 かみくらへきだ 笠倉～壁田 (中野市)	道路築造工 L=1,810m W=6.0(9.75 ～15.0)m (うち橋梁L=196m) 〔工期:H19～H24〕	道路築造工 L=200m	埋蔵文化財調査 一式	道路築造工 L=1190m	必要性 A	22%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は引き続き用地補償及び道路築造工を実施する。	救急医療アクセス、災害時の代替路確保の面からも緊急性が高く、地域住民との合意形成も良好であるため継続して事業を実施したい。	緊急性が高く、必要性、重要性も認められる。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 旧豊田村と旧中野市とを結ぶ道路の建設。合併支援道路。					
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 2.1					
			28億円	2億6500万円	1億1000万円	21億9540万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
46	(一)中野飯山線 ひがしかきはらこし 東笠原～越 (中野市)	道路築造工 L=1,040m W=6.0 (9.75～12.0)m (うち橋梁L=170m) 〔工期:H20～H24〕	橋梁下部工	橋梁上部工 道路築造工 L=430m	道路築造工 L=1040m	必要性 A	49%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は橋梁上部工・道路築造工を実施する。	長野電鉄木島線廃止後の代替路線として重要であることから、継続して事業を実施したい。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 長野電鉄木島線廃線による代替路線。					
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 2.0					
			15億円	4億1350万円	2億円	7億5770万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
47	(主)飯山斑尾新井線 かみら上倉 (飯山市)	道路築造工 L=380m W=6.0(16.0)m 〔工期:H20～H27〕	用地補償一式	用地補償一式	道路築造工L=380m	必要性 A	16%	計画どおり進んでいる。 平成23年度は引き続き用地買収を実施する。	北陸新幹線飯山駅開業に合わせて、駅アクセス道路として整備が必要であるため、継続して事業を実施したい。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 H23変更:事業費9億9000万円減 踏切の構造を変更する 北陸新幹線飯山駅周辺道路の整備					
						効率性 B	B/C(費用対効果) = 1.9					
			11億6000万円	1億3757万円	9000万円	9億6963万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
合計	47箇所	624億1800万円	76億5214万円	53億5446万円	346億8615万円			A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満				